

Title: 「Whatever」



富田 隆徳
1970年代生まれ
原点に立ち返りながら
も先へ進めるように。
今回は撮影です。

Whatever > 2008年06月 アーカイブ

08.06.30

I'm So Tired

[Tweet](#)

[Check](#)



インドが終わった。

個人的には全然終わったなんて気はしないけど。

やり残した事があまりにも多い気がする。



でも。
気持ちを切り替えて、ここネパールでは写真展です。



● 最近のエントリー

- ☒ [I'm So Tired](#)
(2008.06.30)
- ☒ [Across the Universe](#)
(2008.06.23)
- ☒ [Dear Prudence](#)
(2008.06.20)
- ☒ [Castles Made of Sand](#)
(2008.06.16)

● アーカイブ

- ☒ [2009年03月](#)
- ☒ [2009年02月](#)
- ☒ [2008年11月](#)
- ☒ [2008年10月](#)
- ☒ [2008年09月](#)
- ☒ [2008年08月](#)
- ☒ [2008年07月](#)
- ☒ [2008年06月](#)
- ☒ [2008年05月](#)
- ☒ [2008年04月](#)
- ☒ [2008年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0



カテゴリ:

post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

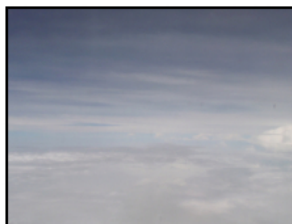
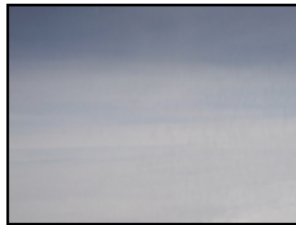
[Whatever](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.23

Across the Universe

[Tweet](#)

[Check](#)





Happy Birthday 10 . Jun . 2008

post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.23 | [バーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[Whatever](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.20

Dear Prudence

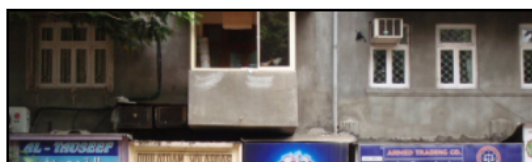
[Tweet](#)

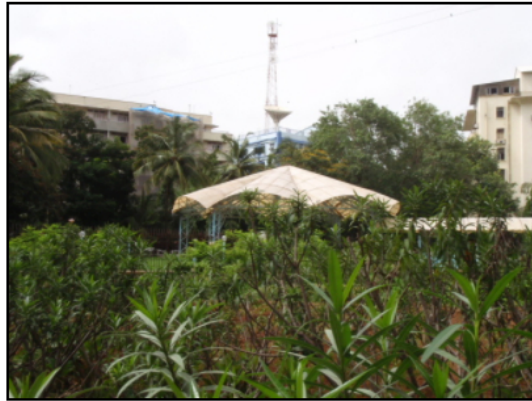
[Check](#)



ムンバイ。

短い付き合いだったけど...





緑がないような気もするけど、





最後はそんなに渋じゃなかったかもしれない。



今はデリーです。

post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.20 | [バーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[Whatever](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.16

Castles Made of Sand

[Tweet](#)

[Check](#)



この日は足を延ばしてバンガロール郊外へ。

目的地は、世界中からIT企業の集まるエレクトロニックシティ（E-city）。
言わずと知れた、亜大陸最大規模の“インド版シリコンバレー”







その景観は、行く前の予想を見事に裏切ってくれた。

足元に広がる貧困エリアと、そのすぐ後ろに鎮座するインド最大手のIT企業の巨大ビル。
加速するこの国の発展と、そこから置いていかれる人々。
頭ではわかっていたつもりでも、現実のものとしてそれを目の前にしたとき、戸惑うばかりの自分がいた。

自分のテーマに沿った撮影はできなかったけど、ここに足を運んだことに何の無駄もなかった。



カテゴリ：

post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Whatever](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.11

Cigarettes&Alcohol

[Tweet](#)

[Check](#)



めざり相性の良くなかった手ノコキを出る。初めての土地、パンガロール。



バンガロール。

インドのようなインドでないような。

納得のいくコーヒー。

室内での喫煙。

酒。

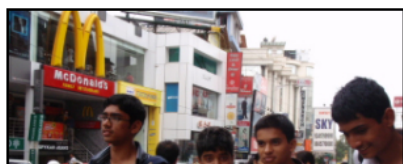
ダサくないTシャツ。

トライバルのTATOO。

ミニスカートにハイヒール。

いるいると気持ち悪い。

しかし、正直快適。





撮影中のリアクションも多種多様。
予想できない。

お礼を言う奴。
中指立ててくる奴。
握手を求めてくる奴。
ひたすら見つめてくる奴。



ま、とにかくやるしかないようです。

カテゴリ:

post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Whatever](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.07

Gimme Shelter

[Tweet](#)

[Check](#)



インド。
あまり久しぶりという感じもせず、すでにお腹いっぱい...。
撮影以外でのストレスも山盛り。

いや、今回はそうも言ってもらえない。
ファイトあるのみ。ですよね。





カテゴリ：
post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Whatever](#) > 2008年06月 アーカイブ

08.06.04

Tomorrow Never Knows

[Tweet](#)

[Check](#)

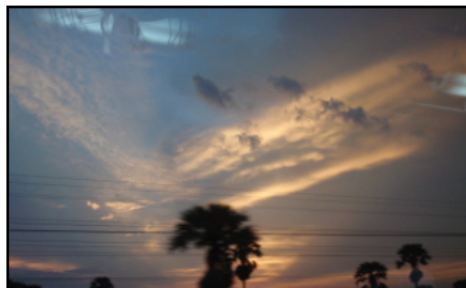


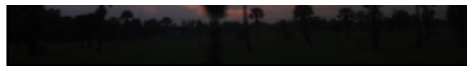
スクーリングが終わり、写真展も終了した。

写真を撮りたい、撮らなければ、と思った。

バンコクを出てからというもの、移動や現像やプリントにエネルギーをつぎ込み、毎日同じ景色を見て、同じ顔と向き合ってる。

そんなことは日常生活を送っていればごく当たり前のことかもしれないし、移動も現像もプリントも必要不可欠な作業だということはもちろん分かっているんだけど、久しぶりにアジアに来て、特にバンコクでは毎日撮影に明け暮れていたから、創太の言うようにこの一ヶ月は本当に持久走のようだった。





スクーリング施設で現像して初めて自分が撮った写真を目にした。
今までは、家に帰ればすぐ現像できて、翌日には学校の暗室で確認できるということが多かった。
良くも悪くもすぐに自分の写真を見ることができた。

今回は、ここに来るまでずっと不安を抱えたまま、
シャッターを押したあの瞬間の記憶だけを頼りに進んできた。

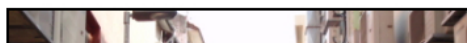
写真を長くやっていれば、そんな事は当たり前の前何でも無いことになるのかもしれないけど、
この2ヶ月と少しの間で、撮った写真が確認できないということがこんなにも自分を不安にさせる
ということを知った。



そんな不安から、一気に全てのカットを目にする。
驚きも喜びも落胆も後悔も、一度にやってくる。

現像の失敗も含めて、そこに現れるのは今の自分のすべてと言ってもいいのかもしれない。
そう表現しても決して大袈裟ではない気がする。

なぜなら、写真を見たとき、そこには自分の実力以上のものも以下のものも写っていなかったから。





とにかく頭を切り替える必要がある。
自分の写真について、もっと考える必要がある。
行動予定は待ってこない。
このままじゃマズイですよ。

カテゴリ：

post by 富田 隆徳 | 日時: 2008.06.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)